

# 『国の教』記事目録

## 凡 例

- ・本目録は1895（明治28）年2月より刊行された黒住教機関誌『国の教』の記事目録である。同誌は150号（1908年11月）まで概ね毎月刊行（5号と6号の間、1895年7月～96年6月に中断）、以後は『経世雑誌』と改題している。本目録では改題以前の150号分について、黒住教本部の黒住教学院所蔵本、および国立国会図書館所蔵本をもとに作成した。
- ・目録の各項目に関しては原則として次のような書式、基準で採った。
  - 1)「種別」：目次および本文の項目を、誤字と思われるものもそのまま採った。
  - 2)「表題」：基本的に小見出しを採った。小見出しに加えて（ ）を付し内容を補ったものもある。見出しのないものは本文冒頭の文言を〔 …〕と亀甲カッコで括って示した。また黒住教本部からの令達類や社告・広告欄に関しては、カッコを付さず令達の番号や件数を示した。
  - 3)「著者」：居住地や肩書き・教階、および「著」「口述」といった発表形式も含めて本文のまま示し、複数名並んでいる場合は冒頭の人名のみ採り「ほか」と付した。
  - 4)「頁」：記事の開始ページを採り、記載がないものは空白とした。附録や広告などで別立てのページ数が記載されている場合は、その記載通りに示した。
  - 5)「内容および備考」：論説などの概要、人名等の情報を適宜記載した。

なお、本目録作成作業は、2015年8月より谷川穰（京都大学大学院文学研究科）・高木博志（京都大学人文科学研究所）を中心に開始した。以後年に1～3回ほど（途中新型コロナウイルスの蔓延による停滞も挟みつつ）、京都・神楽岡の宗忠神社および岡山の黒住教学院において目録作成を継続し、2022年8月に成稿した。

作業参加者は次の通り（五十音順、敬称・所属等は略）。

石塚洋介、川高純貴、胡安美、ト田麻祐子、張賢雅、鈴木渉、高木博志、谷川穰、中山みや子、中山祐太、扈素妍、堀雄高、吉水希枝

（2022年8月28日）